

会 議 録

会議名称	令和7年度 第3回精神保健福祉専門部会
日 時	令和8年1月15日(木) 15:30~16:30
会 場	越谷市役所本庁舎8階 第2委員会室
出席者	<p>【出席者】 中西部会員、田口部会員、高橋部会員、松浦部会員 須賀部会員、近藤部会員(部会長) 岩上氏、厚生労働省担当者など</p> <p>【欠席者】 山根部会員</p> <p>【事務局】 (障害福祉課) 高島主査、西口主任 (こころの健康支援室) 嶋田主幹、中村主幹 (基幹相談支援センター) 高橋氏、久保田氏、川嶋氏、保田氏</p>
配付資料等	<p>【当日配付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会にかかる資料
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 自己紹介 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 意見交換・情報共有 (2) その他 4 その他 5 閉会
会議の内容	<p>14:00~15:30</p> <p>講演会 「にも包括」とは。</p> <p>講 師 社会福祉法人じりつ 理事長 岩上 洋一 氏</p> <p>対象者 市内の保健医療福祉教育関係者等</p> <p>主 催 越谷市障害者地域自立支援協議会精神保健福祉専門部会</p> <p>参加者 40名(市職員7名含む)</p>

※岩上氏による講演後に、講演会の内容等を踏まえ、岩上氏や厚生労働省担当者への質疑を行い、部会員等による会議を開催した。

1 開会

2 自己紹介

各部会員、参加者より自己紹介

3 議事

(1) 意見交換・情報共有

【質問、意見等】

部 会 員：任意事業や構築支援事業について、本市は何も活用していない現状がある。

参 加 者：関係者等にうまく見えてないことが、「まだまだだよ、越谷は」と言われてしまう要因だと思う。これまでにやってきたこと、やっていることを整理することも重要だと思う。

部 会 員：フットワーク軽くできたらと思う。病院にいと、地域のことについて少しわからない部分はある。

参 加 者：県内の他自治体では「にも包括」の取組みを進めたことにより、精神科退院後における地域移行への促進が、数字として成果にあらわれている。越谷市内には規模の大きな精神科病院が複数あり、様々な分野の専門機関が集まる場もつくれているため、その社会資源を有用に活かしていくことが求められる。

参 加 者：市内3つの精神科病院の連携がすすんでほしい。主体は行政ではなく、民間でやる必要がある。広域アドバイザー事業は目的のために突破していく道具でもあり、市内の医師とうまく連携していくことを、みんなで考えていかなければならないだろう。

参 加 者：ふかんに助言してくれる人がいると、みんなで話し合うだけでは出ない部分も出てくるかもしれない。

部 会 員：(広域アドバイザー事業をつかって) 専門家に入っていたくのもいいかもしれない。

部 会 員：(広域アドバイザー事業の活用について) 今日学んだことを踏まえて、部会のほうでまず考えて、少しずつ整理してからでもよいかと思う。

(2) その他

令和8年度以降の広域アドバイザー事業の活用について、先行導入している川口市や、県内中核市である川越市からヒアリングを行い、活用について検討をすすめていく。

4 その他

5 閉会